

事業概要説明シート

事務事業番号 30648

事務事業名	文化観光協会活動補助事業		
事業開始年度	平成10年	担当部署	地域振興部文化観光課

根拠法令	決裁
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託又は指定管理(委託先又は指定管理者:) <input type="checkbox"/> その他()
目的 (何のために)	観光施設の運営や観光宣伝、枚方市観光大使「くらわんこ」のPRなど多彩な活動を行っているNPO法人枚方文化観光協会の活動を支援するため人件費相当分に対する補助金を支出。
対象 (誰・何を対象に)	NPO法人

事業内容
 枚方文化観光協会は、枚方にある自然や歴史、文化遺産を資源とし、それらを活用したさまざまな事業を通じて、自らが住むまちへの関心や認識を深めて郷土愛を育み、地域の活性化に寄与することを目的に、文化観光情報の発信などの事業を多数展開しており、枚方市としても文化観光事業の振興を図り、市民文化や経済の発展に資するため、同協会の活動を支援していく必要があると判断し補助金を支出している。

類似事業

事業の必要性
 行政では円滑に対応しにくい文化観光情報の発信や枚方市の認知度を高めるいわゆる「ゆるキャラ」の周知業務など、多様な業務を実施しており、活動を支援するための補助金の支出は必要である。

コ ス ト		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
		従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費	従事職員数	概算人件費
正職員	0.15人	1,217千円	0.10人	809千円	0.10人	800千円	
再任用職員		0千円		0千円		0千円	
非常勤職員等							
人件費計(A)		1,217千円	809千円	809千円	800千円	800千円	
直接経費(B)		12,894千円	11,968千円	11,968千円	11,963千円	11,963千円	
総事業費(A+B)		14,111千円	12,777千円	12,777千円	12,763千円	12,763千円	

財源内訳		H22年度決算		H23年度決算		H24年度当初予算	
国庫支出金			千円		千円		千円
府支出金			千円		千円		千円
受益者負担 (使用料等)			千円		千円		千円
その他			千円		千円		千円
一般財源	14,111千円		12,777千円		12,763千円		12,763千円

平成23年度 事業費の主な内訳 (人件費除く)	内 容	金 額
	文化観光協会活動補助金	11,968千円
		千円
		千円

事務事業名	文化観光協会活動補助事業		
事業開始年度	平成10年	担当部署	地域振興部文化観光課

	活動指標もしくは成果指標	単位	H22年度	H23年度	H24年度(見込み)
活動実績	① 主催事業開催回数	回	38	38	39
	②				
	③				
単位当たりコスト (総事業費/活動指標)	① 事業費/主催事業開催回数	円	371,342	336,236	327,256
	②				
	③				

成果目標 (目標とする成果)	文化観光協会の円滑な運営				
-------------------	--------------	--	--	--	--

比較参考値 (他自治体での事業の例など)	八幡市観光協会 社) 高槻市観光協会				
-------------------------	--------------------	--	--	--	--

特記事項	平成10年11月10日 枚方文化観光協会設立。平成13年7月 市立鍵屋資料館が開館し、その管理運営を受託する同協会の事務所を置く。平成14年3月1日 特定非営利活動法人となる。平成16年度より観光振興活動費として運営補助金の支出を開始。平成17年7月1日から、枚方市駅市民サービスセンター内市民ふれあいセンターに「ひらかた観光コーナー」を開設。同施設内で、観光ボランティアの受付を始めたため利用者が大きく増えた。平成18年4月1日からは、市民ふれあいセンターを観光拠点として明確に位置づけし、枚方文化観光協会に業務委託。また、平成18年から鍵屋資料館が指定管理者となる。同年、市派遣職員が2名から1名に減員、人員充填のための人件費の補助金支出を決定。平成19年度10月に市職員の派遣が停止されたことを受け、人件費の負担金支出を廃止し、補助金で人員を補填。平成22年度より文化観光協会活動補助金として運営補助金と合算。平成23年度に事務所を市民ふれあいセンター内に移転。平成24年度の市民ふれあいセンターのリニューアルに合わせ、全市的な観光拠点として機能を充実し、情報発信力の強化に努めている。				
------	--	--	--	--	--

一次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	現状のまま継続	より効率的な運営を指示
----------------------------------	---------	-------------

一次評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・上記、負担金とあわせて整理が必要では ・補助金事業として見直しの必要性があるのでは 	
--------	---	--

二次点検における事業の今後の方向性及び具体的な今後の取り組み方針	改善	組織形態のあり方や今後の方向性について協議を行っていく中で、運営上必要とする補助金の額を検証し、支出のあり方を見直していく。事業についても、全市的な観光発信を推進できるように見直しを行っていく。
----------------------------------	----	---